

次世代に信頼と夢をつなごう

# 第17回役員会開催報告

Radixの会 事務局長 竹内 周

7月25日、機械振興会館（東京都港区）にて、Radixの会第17回の役員会が開催されました。上半期前半の活動概要が報告され、今後に向けていくつかの議案が討議されました。

## Radix

### ■新たなステージに進みましょう！

会議の冒頭、緒方相談役（らでいっしゅぼーや代表取締役社長）からご挨拶をいただきました。

緒方さんは昨今の会の活動について「新しい体制になって3年を経過した現在、会として〔技術向上〕〔会員様を通じての交流〕〔Radixの会員様同士での原料調達〕など実態を持たせるべく進み、一定の成果が出ていると実感している」と総括。次年度を見据えての今後については「組織としてもより確固たる地位をもたせていきたい。Radixの会も新たなステージに進んでいると思っています。ぜひらでいっしゅぼーやと共に歩んでいきましょう」と、会を激励されました。

### ■在来種公開サミットを開催

今年度は農産部会の研究調査活動として、在来種をテーマに活動を進めています。今回事務局から、活動の一環として非会員も対象とした公開サミットの開催が提案されました。

①在来種を巡る「作り手」「流通」「食べ

手」それぞれの課題を明らかにする場と捉え、取組みをより円滑に拡大させる機会を提供する。

②公開の場とすることで、在来種を巡る動きに対して、らでいっしゅぼーやの活動をも広くPRする場とする。

③各界の識者とのネットワークを結び、今後の情報収集と生産者会員へのフィードバックを進める。

④生産者の参加で、より以上の関心をもって取り組んでいただく。

開催は2003年11月以降とし、今後関係役員、らでいっしゅぼーや農産部、事務局で計画の上、次回（10月）役員会にて報告し進めていく予定です。

### ■水俣災害対応について

7月20日未明に九州地区を襲った集中豪雨による土石流により、熊本県水俣市の生産者・吉海英機さん（肥薩自然農業グループ）が被災されました。被害は生産の継続に必要な基盤の被害であり、見舞金規程を適用する旨、全会一致でご承認いただきました。

規程では、会員が火災、水災、震災その他の災害により、事業経営上必要

な設備等が甚大な被害を受けた場合にこれを給付するとあり、被災された吉海英機さんに対し、所属グループの肥薩自然農業グループを通じて、お見舞金200,000円の拠出を行ないました。

災害の状況については頁末インフォメーションをご参照ください。

### ■Radix検討委員会が発足

2000年より新しい体制となったRadixの会も、年度末には第2回総会と役員改選を控えています。当会の中長期的な方向性をまとめる目的の検討委員会の発足が決定しました。

「Radixの会の次年度以降のありかた」「次年度役員選出の方向性」について検討し、メンバーとして会長、副会長（五月女清以智氏、蓬臺雅吾氏、高橋祐之氏、竹並一人氏）、特別会員幹事副会長より後藤和明氏、川崎孝文氏、藤巻啓二氏、事務局長（竹内）の8名とし、場合により顧問（親跡博史氏、古原岳志氏）相談役（緒方大助氏）が参加します。スケジュールは、次回（10月）の役員会までに2回の委員会を開催、検討結果を報告します。



### ■各部会からの報告■

①農産部会：女子栄養大学との食味栄養試験は今年度、品種・地域等の違いに着目し進行中。土壌分析器購入助成は9月より募集を予定。農産部会として「かあちゃん集会」を2年後に全国規模で開催することを確認。今年度はその前段と

して各地域ブロックでの開催を検討。自主基準集は第二集の制作に着手。在来種調査について中間報告。

②畜産部会：「有機畜産」の課題がオーガニック飼料。この調査を7月にオーストラリアで実施、今後フィリピンを予定。関連した畜種別分科会は7月までに乳牛・肉鶏・卵鶏が終わり、8、9月で残りの畜種を開催する予定。飼料米の実験は、今年度は中国の多収米（3倍）を入手、栽培試験中。

③食品部会：10月（北海道）、翌2月（中部）と予定されてる製造管理技術講習会には食品部会より役員が参加する方

向。水産原料ネットワークは非公開のホームページ上で掲示板機能を活用し利用を呼びかけていく予定。

④交流部会：Radixの会との連携（11頁参照）を進める件。プレゼント企画は大阪センターでひまわりのプレゼントを実施。らでいっしゅ村企画「出雲ツアー」は5組14名の会員さんが参加。元氣市でのブース出店の準備、他。

### ⑤事務局

入退会、会費徴収動向報告、予算実績報告（3月～6月）、ホームページ進捗報告、他。